



巻頭言 『しみわたり』

指導主事 山岸一朗

大昔の話になります。

私が小学校に通っていた時です。「朝学習の時間だけ」という約束で、先生と一緒にしみわたりに行きました。ソリや肥し袋、段ボール箱など、思い思いの物を持って出かけます。雪のない時には行けない田や畑や山の斜面など、自由に走ったり、ソリに乗ったりできます。家族に作ってもらった自慢のソリもあれば、肥し袋と段ボールを使った簡易そりでもよく滑ります。

そして、それぞれがとっておきの場所や楽しみを先生に教えます。朴の木の芽を使って簡単に笛をつくる方法、どんな大雪の年も雪が積もらずドジョウが這いずり回っている湧き水、蝙蝠が冬眠している横穴、村で一番早くアサツキが伸びる斜面などです。人があまり荒らしていないため鮮やかな色の雪割草が咲く尾根など、まだまだ先生に紹介したい場所はあるのですが、そろそろ帰ろうと言う先生の眉間にしわが寄ってきます。

「こっちが近道だよ」と脇道に誘い込み、雪が柔らかくなりかけた2限の終わりに、蝙蝠の入った段ボールなどの獲物をもって揚々と学校に引き返してきました。

その後先生にしみわたりを何度お願いしても「もうその手には乗りません」と冷たい反応をされ、信頼を失うことは悲しいことだと学びました。

これは、「十日町のよいところは?」「なんで先生になったの?」と聞かれるたびに思い出す記憶です。

学校教育の重点が新しくなって1年が過ぎました。そこで目指すめあては、「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」です。各学校で、各教室で、地域に出かけて、ふるさとを愛す心や自立する生きる力を育む教育活動が展開されたものと思います。1年間のお疲れを癒すとともに、新年度に向けての鋭気を養っていただければと思います。ありがとうございました。

小中一貫教育

■ 共通取組事項「自己有用感」を育む具体的指導の実践例集

小中一貫教育共通取組事項「自己有用感」を育む具体的指導の実践例が、各学校から78編届きました。今年度から、令和7年度まで延長して取り組むこととなった「自己有用感を高める」取組に、全ての学校や中学校区で取り組んでいただいたことに深く感謝いたします。

異学年・他校との交流活動はもちろん、日々の授業や学級における活動もあり、多様な取組を報告いただきました。

また、うまくいった取組みだけでなく、課題の残ったものも取り上げてもらっておりますので、参考になると思います。データを職責別のサーバーに保存しましたので、是非ご覧ください。

保存先: [¥¥Edsv01¥職責別¥01_学校間共通¥03_小中一貫教育¥11_共通取組事項「自己有用感」¥02_自己有用感\(共通取組事項\) 実践報告¥R3_実践報告書¥実践例集¥ショートカット](#)

ファイル名: 実践報告一覧

令和3年度 十日町市小中支援学校
共通取組事項「自己有用感」を高める具体的指導(支援)の実践例

No	学校名	教科等	実践例	ファイル名
1	十日町小	生活科	『1年生生活科 ヤギとなかよし』	101_十日町小①
2		生活科	『2年生生活科 1年生となかよし』	
3		体育科	小教研指定究『みんなの言葉でつながる子ども(1年次) ~体育科学習~』	
4	中条小	特別活動	『やまびこ班活動(縦割り)』	102_中条小①
5		算数科	『たしひりひいてみよう』	
6		算数科	『三角形と角』	
7			『おこな学習発表会』	
8	東小	特別活動	『おこなっ子・サ祭り(児童会)』	102_中条小③
9		外国語	『思い出のアルバム』を作ろう What's your best memory?	
10			『児童の自己有用感を高める学級づくり』	
11	飛渡第一小		『いろいろな場面で自分からあいさつのできる児童の育成』	103_東小①
12		生活・総合	『野菜でつながる 飛渡の絆』	
13	飛渡第一小	特別活動	『飛一タイム』	104_飛一小①
14		特別活動	『全校係活動(委員会に代わる 全校係活動)』	

右端のファイル名をクリックするとファイルが立ち上がります。

■ 1日異校種体験研修

今年度も1日異校種体験に多くの方から参加していただきました。

乗り入れ授業やTTに取り組む方も多く、ご多用の中、訪問される方と受け入れ側の方の両方の先生方が連絡を取りながら取り組んでいただいたことに深く感謝いたします。

この異校種体験研修をとおして、先生方から貴重な感想や提言をいただいておりますのでいくつか紹介いたします。

中学校に向けて、6年生にも書く量とスピードを意識させた指導を行い、授業内で理解しきれないときにはどうしていけば良いのかを6年生にも伝えていきたい。
小学校教諭

(中学校では)自分で教科書などの資料を見て、答えを探したり、考えの根拠を見つけたりする活動が多く行われていて、これまで培った基礎学力があるからこそできる活動だなと感じました。小学校のうちから、資料を読み取る活動や習慣を身に付ける必要があることを強く感じました。
小学校教諭

小学校で勤務をしてみて、先生方が休む間もなく子どもたちと向き合っている姿が印象に残った。近くに信頼できる教職員がいるからこそ、子どもたちは安心して過ごすことができていると実感した。
中学校教諭

研修参加の 状態	実施数(人)		備考
	小学校 教員	中学校 教員	
授業実施 (乗り入れ)	3	9	国語、社会、図工、外国語、体育
T・T	9	3	国語、算数・数学、社会、理科、英語、体育、音楽、図工、総合、外国語、道徳
集会協力等	0	0	朝学活、終学活、給食・清掃、部活
引率	0	0	
参観のみ	4	0	

生徒主体の活動が多く見られ、各人の伝える力の向上が見られた。小学校においても児童が主体となり、企画運営する取り組みを多く設定し、中学へ向けて1人1人の発信力の向上が重要であると感じた。
小学校教諭

6年生の算数の授業では中学校での学習内容を少し紹介し、実際に解かせてみた。意欲的な児童が多く、「このくらいのレベルなら中学校でもやっていけそう」「おもしろかった」という発言が出たり、解けた児童はわからない児童に率先して説明したり、終始良い雰囲気です授業を進めることができた。
中学校教諭

校長先生との話し合いの中で、中学校職員から聞いた「これだけは小学校で身につけておいてほしい」力について、話をさせていただいた。中学校からの要望だけでなく、逆に「小学校でこんなことに力を入れてきたから、その流れでこんなことをやってほしい」など、中学校への要望があればぜひ聞きたいと思った。
中学校教諭

教育相談班より

■ 校内生徒指導体制等の自己点検の結果を踏まえた今後の対応について

令和3年11月に実施した点検結果及び今後の対応がまとまりました。改めて自己点検結果を確認し、自校のいじめ防止対策について検証・見直し・改善を行い、令和4年度への引き継ぎを確実にお願いします。

1 「学校の組織力強化」について

- ・令和4年度「学校いじめ防止基本方針」を年度の早い時期に保護者への周知の機会を設け、いじめ対応や相談窓口等について示す。
- ・いじめを発見又は相談を受けた場合、速やかに学校いじめ対策組織に報告し、組織的な対応につなげる。
- ・いじめに係る行為が止んで少なくとも3か月は被害・加害児童生徒の様子を含め状況を注視し、被害児童生徒本人及びその保護者に対し、心身の苦痛を感じていないかどうかを面談等により確認する。

2 「教職員の意識改革」について

- ・いじめの定義、いじめに対する措置、いじめ重大事態の定義について、研修等を通じてすべての教職員が理解する。

3 「相談体制の充実」について

「SOSの出し方に関する教育」の年1回実施

- ・児童生徒のSOSを、専門的な対応により、適切に受け止める体制を充実させる。
- ・スクールカウンセラーや相談員等について、年度の早い時期に児童生徒及び保護者への周知の機会を設けることで、児童生徒の相談先を増やす。

4 「いじめの認知」について

- ・重大事態を含めたいじめは「どの学校でも起こりうるもの」であり、法に基づいた正確な認知を行っているか、認知漏れがないかについて十分確認を行う。
- ・いじめの早期発見のため、アンケートの実施方法や複数によるチェック体制、保護者への連絡等の工夫・改善を確実に実施する。

■ 特別支援学級の運営について

特別支援学級は、通常学級における教育では十分な教育効果を上げることが困難な児童生徒のために特別に編制される少人数の学級です。そこで、改めて以下の点を確認し、適切な運営に努めるようお願いします。

1 「適正な学級編制」について

- ・特別支援学級は障害種に応じて設置された学級であるため、交流学級への引率の利便性により障害種を混在させ学年ごとに編制し直すことはしない。

2 「適正な教育課程」について

- ・障害による学習上または生活上の困難を克服し自立を図るため、自立活動を教育課程に位置付ける。
- ・各教科の目標や内容を下学年の教科の目標や内容に替えたり、知的障害特別支援学校の各教科等に替えたりするなど、児童生徒の実態に応じた教育課程を編成する。
- ・通常の学級での交流及び共同学習について、当該児童生徒の学びが成立しているか、学びの保障ができていないかについて、評価・検証し、必要な改善を行う。

学習指導班より

令和4年度 教育センター学習指導班事業について

新型コロナウイルスの状況等により、部分的に変更となる可能性もあります。詳細は、4月に配付する「教育センター要覧・パンフレット」をご覧ください、内容・日程等をご確認ください。

【令和4年度の学習班事業（現時点で変更・新規予定のもの）】

新規	<ul style="list-style-type: none">○ 居心地のよい学級づくり支援事業 = WEBQU を活用して学級集団づくりに重点的に取り組みます。○ 大地の芸術祭活用事業 = 開催年に合わせ、鑑賞活動の調整を行います。
変更	<ul style="list-style-type: none">○ 中学校教科担当者会議 = 令和4年度は数学と理科のみ実施します。 (※数学は、中越教育事務所重点教科訪問として)○ 学力向上推進会議 = 「居心地のよい学級づくり支援事業」の校内推進委員としての研修に替えます。
中止・廃止	<ul style="list-style-type: none">○ ～プロに学ぶ～授業力向上研修 = 令和3年度に続き、事業を凍結します。○ 学力向上計画訪問 = 「居心地のよい学級づくり支援事業」として学校訪問を行います。○ 「ICT活用授業」支援訪問研修 = 「ちょこっとICT研修」として実施します。○ 小学校5・6年外国語授業参観研修 = 令和4年度は実施しません。○ キッズ英語塾 = 令和4年度は実施しません。

【令和4年度のエキスパート教員研修について】

令和4年度は、千手小学校の前田考司先生（学級経営）をエキスパート教員として委嘱させていただきました。来年度の研修にぜひご期待いただき、積極的なご参加をお願いいたします。

令和4年度 「居心地のよい学級づくり支援事業」について

既にいろいろなところで説明させていただいているとおり、令和4年度は新規事業として「居心地のよい学級づくり支援事業」をスタートさせます。

これは、令和2・3年度に取り組んできた WEBQU の対象学年を単に拡大させるものではありません。 また、「WEBQUをやればいいんでしょ」「学級活動を充実させる」というものでもありません。

市内では、不登校児童生徒の割合が増加傾向にあります。また、学力は特に小学校において低下傾向です。しかし、学校現場での指導がここ数年で不登校を増やし、学力を大きく低下させるようなものになってしまっているとは考えにくいです。だとすれば、不登校や学力低下の要因は何なのでしょう。授業や教科指導に大きな要因がないのであれば、その他の面にアプローチしてみる必要があるのではないのでしょうか。そこで、学級集団づくりに重点的に取り組むことにしました。

すべての学校が「集団育成」と「個別支援」を徹底し、学校が年度や人材に左右されずに持続可能な取組として維持・向上させていくことがねらいです。ぜひ、すべての先生方からご理解いただき、主体的に取り組んでいただけるようお願いいたします。



学校教育課・教育センター事業のお知らせ ～4・5月～

日 時	内 容 ・ 会 場	備 考
4月 4日(月)	令和4年度初め十日町市教職員一斉研修 第1部:居心地のよい学級づくり支援事業について(13:00～14:30) 第2部:十日町市が進める小中一貫教育について (14:45～15:25) 第3部:大地の芸術祭について 「ふるさと教材」を活用したふるさと学習について(15:35～16:00)	会場:各学校を結んでオンライン開催 対象:1部…全教職員 2・3部…十日町市に初めて勤務する教職員
4月 6日(水)	教育支援員研修会① <div style="text-align: right;">【川西庁舎】</div>	講師:学校教育課 職員 対象:教育支援員
4月 14日(木)	第1回小中一貫教育 統括・校内コーディネーター研修	対象:小中一貫教育統括・校内コーディネーター
4月 19日(火)	新任・転任教職員 ICT 研修	会場:各学校を結んでオンライン開催
4月 21日(木)	特別支援教育説明会 <div style="text-align: right;">【千手コミセン】</div>	説明:学校教育課 指導主事 対象:特別支援教育コーディネーター
5月 19日(木)	いじめ防止対策研修会 <div style="text-align: right;">【千手コミセン】</div>	講師:中越教育事務所 指導主事 佐藤典人 様 対象:管理職
5月 26日(木)	サポート訪問研修開講式【千手コミセン】	